

研修旅行

風の沢ミュージアム「おかざき乾じろ展」と宮城県美術館「ポーラ美術館コレクション モネからピカソ、シャガールへ」鑑賞

2016年10月15日(土)

酒井哲朗名誉館長・伊藤学芸課長様にご同行いただき、42名で出かけました。

「風の沢ミュージアム」は、栗駒山麓・風の沢に、茅葺屋根の古民家や漆喰壁の蔵等を利用したギャラリー・ショップ・カフェ等が点在する美術館で、それらを巡りながら、建築家・景観デザイナーとして活動をしているおかざき乾じろの、風刺的・先鋭的な水墨画・陶芸作品等を鑑賞しました。

それから大崎市古川の「醸室(かむろ)」という江戸時代に建てられた酒造店の数々の蔵を改装した施設の中の「食の蔵・野菜厨房 Zen」で、昼食をとりました。



隣接している市民ギャラリー「緒絶の館(おだえのやかた)」で、「福島県立美術館所蔵作品展」が開かれており、友の会研修ということから、無料で入館させていただき、酒井三良・斎藤清・ルオー等と福島県の現代作家の作品を鑑賞しました。そして宮城県美術館「ポーラ美術館コレクション モネからピカソ、シャガールへ」、名画の数々に心満たされ、帰路につきました。

(研修旅行担当 辺見美江子)

映画鑑賞講座

毎年数本の美術に関連する映画を会員に紹介して楽しんで貰っています。

8月に東京国立近代美術館フィルムの「国民の創生」無声映画や農民詩人木村迪夫の「無音の叫び声」は紹介が無ければ見逃している映画かと思われました。

フィレンツェ、メディチ家の至宝「ウフィツィ美術館」は3Dの上映、坂本学芸員による「フィレンツェとウフィツィ美術館について」の解説を聞きました。

(映画鑑賞講座担当 阿部泰宏)



美術実技講座

～つくって楽しい、飾ってうれしい、回転式版画制作～

2016年11月20日(日)

- 日時 11月20日(日) 10:00～16:00
- 場所 福島県立美術館 実習室
- 参加者 6名
- 講師 國島敏 当館学芸員
- 経費 材料費、額代として一人3,000円

今年度は、広重ビッド展にあやかり版画に挑戦。それも、「回転式木版画」という目新しい技法を先生に教えていただきました。回転するとこの版木がどうゆう作品に仕上がるのか、想像のつかないおもしろさ、刷ってみたいとわからない新鮮な体験でした。

(実技講習担当 佐藤みどり)



ミュージアム・コンサート

美術館エントランスホール

2017年3月12日(日)

恒例のミュージアム・

コンサート、今年は仙台フィルメンバーからなる「クワテール・ディゼール」をお迎えしました。今回の演奏会は「音楽の力による復興センター東北」と「仙台フィルハーモニー管弦楽団」の協力をいただきました。同センターは東日本大震災から2週間後、仙台フィルハーモニー管弦楽団と市民有志により音楽の力で地域再生のための希望の灯をともすことを目標に組織され、被災地域に直接出向いて音楽を届けており今回も多忙なスケジュール割いて演奏をお引き受けいただきました。

ハイドンの「皇帝」からタンゴの革命児ピアソラの「フォーフォータンゴ」まで全4曲のアカデミックかつ情熱的な弦楽四重奏が奏でられました。クワテール・ディゼールとは「おしゃべりな4人組「とのことで、演奏の合間には4人のみなさんの楽しいお話も聞くこともできました。

ミュージアム・コンサートは美術館、美術館協会、友の会が共催し

て美術と音楽をいっしょに楽しもうという賛否な催しです。演奏者の皆さんによれば美術館エントランスホールは演奏会場としての響きも上出来とのこと。これからもさまざまな音楽を響かせていきたいと思ひます。

(ミュージアムコンサート担当 舟木藤弘)



美術鑑賞講座

友の会では美術鑑賞講座として、美術館の企画展の開催に合わせて、企画展をより深く鑑賞するために担当学芸員による講義とギャラリートークなどを開催しています。

今年度は、6月に「山津見神社復元天井絵展」、7月に「エドワード・ゴッリー展」、11月に「広重ビッド展」についてそれぞれ開催しました。

さらに、10月から2月にかけて3回シリーズで美術鑑賞講座の特別編として、イタリア・ルネサンス美術を分かり易く楽しむ講座「イタリア・ルネサンス美術散策～フィレンツェ・ローマ・ヴェネツィア～」を開催しました。講師はイタリア・ルネサンス美術を専門とする坂本篤史学芸員で、講座では多くの美術作品の画像とともにグーグルマップや時には音楽も使いながら実際に3都市を旅するように分かり易く楽しく解説していただきました。毎回30人程の参加者が熱心に聴講し、イタリア・ルネサンス美術の多くの作品とその背景や変遷を追いながら、その舞台となった3つ都市を辿る美術の散策を楽しみました。

(美術鑑賞講座担当 貝沼幹夫)



アート・チャリティ・バザー

驚き!会計コーナーに長蛇の列!

2016年12月4日(日)

折りからの「浮世絵コレクション展」の最終日(12月4日(日))と重なり、入館者が殺到し、コーナーの出店品は奪い合うばかりの様相となりました。さらに骨董コーナーでは会津本郷焼の老舗窯元、宗像窯の6代、7代、そして現役の陶工8代利浩の制作になる抹茶碗が好評を呼び次々と選ばれました。

(アート・チャリティ・バザー担当 斎藤格)

